特●集

沼津駅周辺総合整備事業
魅力あるまちづくりの実現へ

本市が、将来にわたってにぎわいと活力のある県東部の拠点都市として成長していくためには、まちの顔である中心市街地の活性化が必要であり、人々が行き交う魅力に満ちあふれた誇りのもてるまちにつくり変えていかなければなりません。

沼津駅周辺総合整備事業は、そのような未来の沼津の発展に必要な事業としてスタートしました。

特集では、この事業により変わってきたまちの姿やこれから進める事業について紹介します。

問沼津駅周辺整備事務局推進課
☎055・934・4768

進化 evolution

進むまちづくり事業が着々と形に

沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道の高架化による交通の円滑化や市街地の一体化を図る鉄道高架事業❶をはじめとした6つの事業からなり、このうち2つの事業はすでに完了しています。

特定再開発事業によるJR沼津駅北口のBiVi沼津❹、市街地再開発事業による同駅南口のイーラde❺の完成に続き、駅北拠点開発事業❻では、昨年7月に総合コンベンション施設プラサヴェルデがオープンしました。それにより、新たなにぎわいと交流が生まれたほか、訪れた人が周辺のホテルやタクシーを利用するなど市内への経済効果も確実に現れています。

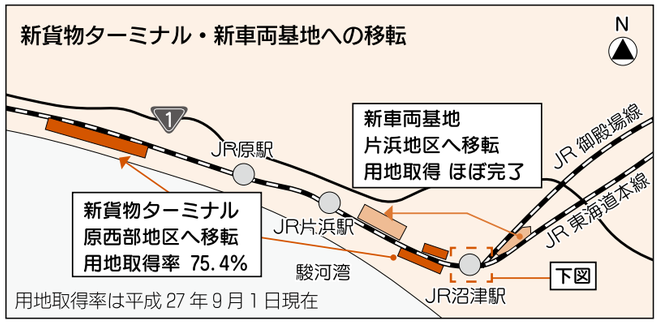
また、駅周辺の道路整備❷や土地区画整理事業❸でまち並みがきれいに整備され、より快適で住みやすいまちへと姿を変えてきています。

そして、これからは、鉄道高架事業を中心に、分断されている南北市街地の一体化を図りつつ、高架により生まれる新たな土地に公園や商業施設などの都市的機能を集積したまちづくりを進めていきます。

沼津駅周辺総合整備事業

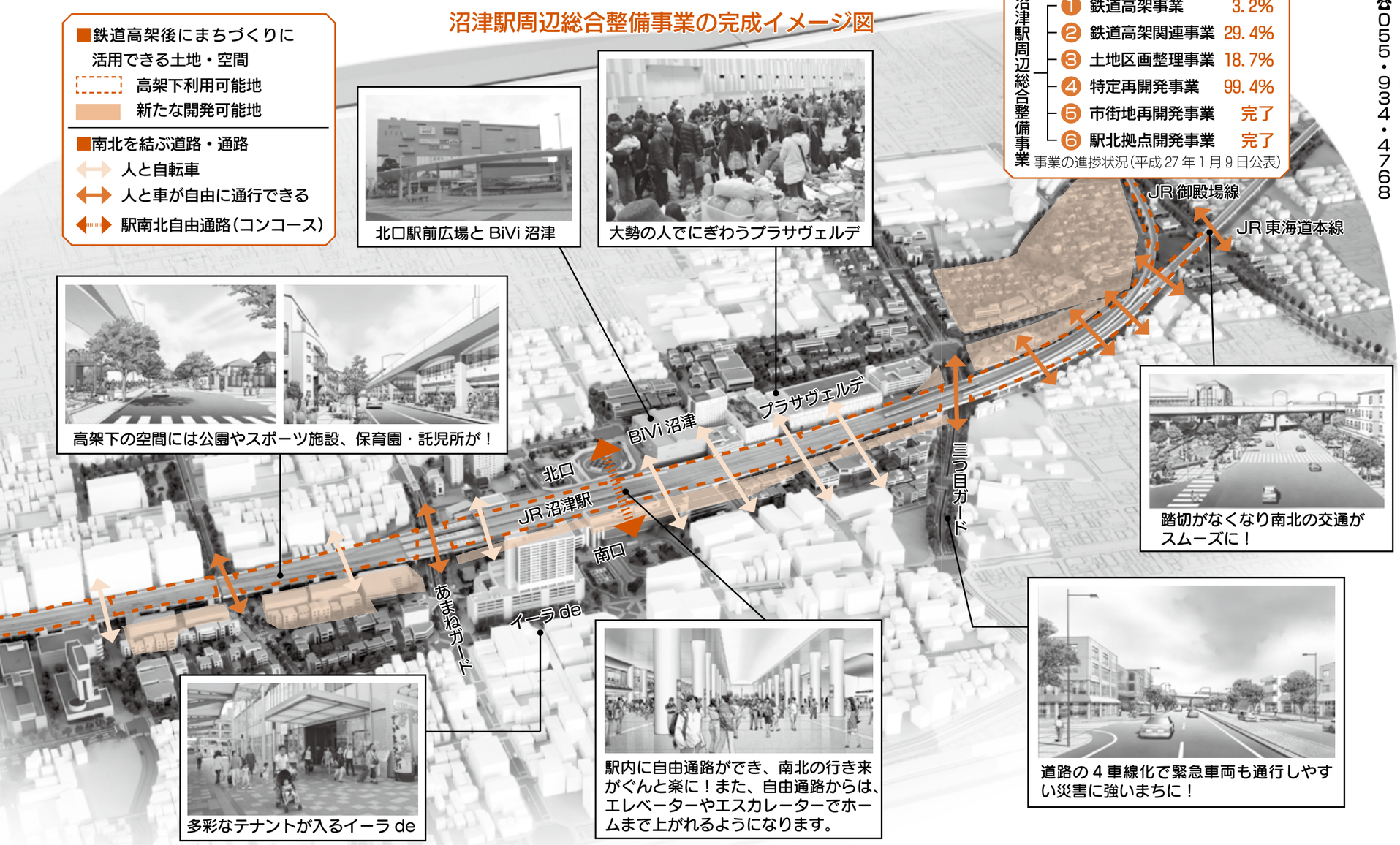
❶	鉄道高架事業	3.2%
❷	鉄道高架関連事業	29.4%
❸	土地区画整理事業	18.7%
❹	特定再開発事業	99.4%
❺	市街地再開発事業	完了
❻	駅北拠点開発事業	完了

事業の進捗状況（平成27年1月9日公表）



※新貨物ターミナルの用地取得が完了すれば、鉄道高架等の工事に本格着工することができます。

沼津駅周辺総合整備事業の完成イメージ図



北口駅前広場とBiVi沼津

大勢の人でにぎわうプラサヴェルデ

高架下の空間には公園やスポーツ施設、保育園・託児所が！

踏切がなくなり南北の交通がスムーズに！

多彩なテナントが入るイーラde

駅内に自由通路ができ、南北の行き来がぐんと楽に！また、自由通路からは、エレベーターやエスカレーターでホームまで上がれるようになります。

道路の4車線化で緊急車両も通行しやすい災害に強いまちに！

市長随想

市長　栗原 裕康

かつて沼津は県東部において一番都会的な街でした。そのシンボルは駅南に位置する仲見世をはじめとする商店街と西武百貨店で、県東部各地から多くの方々が「街に行こう」と来てくださいました。

交通体系の変化や大型店の郊外進出に伴い、今では様変わりしていますが、都市的魅力の集積は、それでも沼津が比較をすればまだ一番だと思います。

人口減少、首都圏への一極集中が続くこの時代、沼津のにぎわいと活力を取り戻す為には、BiVi沼津、イーラdeやプラサヴェルデの完成に続き、鉄道による市街地の南北分断を解消し、駅周辺の車両基地、貨物駅を郊外に移転し、鉄道を高架にして、それらによって生み出された新たな土地をしっかり活用して都市的魅力を再構築する鉄道高架事業が一番有効な政策だと思います。この事業は県が中心となって進め、国も最大限の協力を約束しております。

市民の皆様の、ご理解ご協力を願って止みません。